



和宮の例祭

1 / 9



除幕式の様子

昭和4年の遺蹟造営以来、毎年、春と秋に皇女和宮例祭が行われています。
こうした遺蹟の造営や、宮様の遺徳を偲ぶ例祭を行っているところは、
中山道69宿ある中で唯一、瑞穂市の呂久ろくだけです。
この90年間、欠かすことなく行ってきた例祭、通称和宮祭りについて紹介します。



和宮の例祭

2/9



4月に行う春の例祭をご紹介します。

春の例祭は小簾紅園が完成した4月26日を、例祭日として開催しています。
春は神事で行い、祭文や挨拶、「和宮奉賛歌」を斉唱して宮様の偉業をたたえます。



和宮の例祭

3/9



神事の様子



和宮奉讃歌斉唱の様子

閉式 の奉 こ と ば 唱	和宮 の奉 こ と ば 唱	来賓 あ い さ つ	斎主 の 儀	昇神 の 儀	玉串 奉 奠	斎主 玉串 奉 奠	献楽 文楽 奉 奠	祭文 奏 奠	降神 の 儀 祝詞 奏上	修祓 の 儀 斎主 一 拜	神事 の こと ば	開式 の こと ば	和宮 春の 例祭 式次第
------------------------------	------------------------------	------------------------	--------------	--------------	--------------	--------------------	--------------------	--------------	--------------------------	------------------------------	--------------------	--------------------	-----------------------

式次第

平成29年度より、春の例祭は、呂久区民を中心とする例祭として、
4月末の日曜日に開催しています。



和宮の例祭

4 / 9



次に秋の例祭についてご紹介します。
文久元年（1861）10月26日、和宮様が呂久川を渡船され、
美しく紅葉する楓を愛でながら歌を残されました。
この日を秋の例祭日とし、開催されています。



和宮の例祭



増上寺代表のあいさつの様子



献吟の様子

閉和来会導献土献焼読導献コ開
 式宮賓長師吟鈴楽香経師灯ー式
 の奉ああ退 奉 焼 焼 ーの
 辞讚い場 納 香 香 ラス 辞
 歌ささ
 齊つつ
 唱

和宮秋の例祭式次第

式次第

秋は仏式で行い、東京の増上寺代表の出席と多くの来賓をむかえ、和宮様の法要を通して宮様の遺徳を偲ぶ会となっています。



和宮の例祭

6/9



植樹のご様子



当時の岡田集南町長と



式典関係者と

節目となる年の秋の例祭には、皇室や徳川家からも御出席を賜り、開催してきました。
昭和51年、和宮様の100回忌となる年には、秩父宮妃殿下の御臨席を賜り、
例祭を開催しています。



和宮の例祭

7/19



式の様子



式の様子



植樹の様子

12年後の昭和63年には、第18代徳川宗家御内儀 ^{ごないぎ}徳川幸子様
に御出席をいただき開催しました。

和宮の例祭

8 / 9



90年の間続けてきた例祭も、時の流れと共に変化がありました。
さぎた 鷺田郷土史などの記録によると、初期には、近郷の俳人が集まり、
宮様の遺徳を題とした琵琶歌や朗詠が行われていました。

昭和40年代から、巢南町の文化研究会の会員による、短歌や俳句などの献句がありました。

和宮の例祭



献吟



和宮音頭



吟舞

平成にはいい、遺跡保存会が中心となり例祭が開催され、詩吟保存会や舞踊保存会が
献吟・吟舞、和宮音頭の奉納を行うようになりました。

近年、少子高齢化による担い手不足の課題がある中、教育委員会の援助と
市内の各種団体の協力を得ながら例祭を開催しています。